

学習公開日 久我先生来校

9月20日(土)は、学習公開日でした。たくさんの保護者、地域の方々においでいただきありがとうございました。



【1・2年学級通信より一部抜粋】

今回の授業は、体育でした。普段通りの体育の授業の様子を見ていただきました。

毎時間、筋トレや体幹運動などを取り入れて、体を支えたり、力を入れたりする感覚を身に着けているところです。

マット運動では、前回り後ろ回りを基本に、発展技の大きな前回りや台の上での前回り、倒立ブリッジなどにも挑戦しました。体が柔らかいこの時期の子どもたちは、動きのイメージが掴めると、どんどんできるようになっていきます。初めて挑戦した技でも、やり方がわかるとすぐにできるようになる子どもたちにいつも驚かされています。

これから、体育は、運動会練習と並行しながら、跳び箱や鉄棒など、用具を使った器械運動につながる遊びをやっていきます。

そして、この日は4月11日(金)に続いて久我直人先生(鳴門教育大学)に来ていただきました。

久我先生には、午前中に、各学級の様子を見ていただいたり、1～5年生に講話をしていただいたりしました。また、午後からPTA研修会でご講演をいただきました。放課後には、教職員の研修会を行いました。



【講話後の児童の感想より一部抜粋】

○今日、久我先生のお話を聞いて、自分を良くするのもダメにするのも自分しだいなんだなと思いました。心の中に二つの自分がいて、AくんやBくんみたいに変わるためには、やさしい自分を出していきたいです。「自分はダメだ」と思わずに、「自分是可以る。自分にはいいところがある。」とプラスに考えれば、ダメな自分も変えていけるから、とにかくいつもプラスな思考をしていきたいと思いました。

○わたしも、きっかけを見つけて、いろんな目標をもって、たくさんのごことに挑戦していきたいです。人のことも大切にしたい助けたいして、自分と友達のことを大切にしたいです。

【PTA 研修会・講演についての保護者の感想より一部抜粋】

○久我先生に子どもたちが良い目をしていると褒めてもらえたことが、今までのことを認めてもらえたようで安心しました。もちろん今まで自分がやってきたすべてが正解ではなかったと思うし、反省することも出てくるけど、まだまだ長い子育て人生楽しんでいきたいです。

○久我先生のお話を聞いて、子どもの話を聞くときは、しっかり目を見て話を聞こうと思いました。

○自分のものさしで、よかれと思いの先回り…今回、本当の子ども幸せとは何かを教えていただき、先回りはぐっと我慢です。自分の考え方をもっと大きくゆったりと焦らずに変えていけそうな気がします。

○愛着障がい、幼少期の関わり方で決まってしまうと思っていたので、関わり方次第では、いつでも修正が可能であることを聞き、安心しました。

○これからも子どもの「今」に合わせた「目と目、言葉と言葉、気持ちと気持ち」を通わせる関わりをしていきたいと思いました。

○親・大人としてどうしても子どもの言動をネガティブに見て、子どもを否定するようなマイナスの発言をすることが多いですが、それでは子どもや自分自身にとって良くないことが、久我先生のリアルな体験談からよくわかり、もっともっと大らかに幅広い視野で子どもを見てあげようと思いました。

○貴重なお話が聞けて、子育てについて考え直すきっかけとなりました。日頃から、いろいろなことに対して不安が強い為、それが我が子に伝わっていて、子どもも引込み思案だったり、新しいことが苦手だったりするのかなと感じました。

○今回の研修を親だけではなく、先生方も一緒に受けていただく機会があり、親だけでなく先生方も子どもの幸せを願い育てていけると実感でき、研修方法としてもとても良かったです。

クリーンセンター見学

9月12日(金)、4年生が「邑智クリーンセンター 可燃ごみ共同処理施設」に社会科見学に出かけました。ペットボトルや空き缶の処理の様子や可燃ごみを安全に処理するために、コンピュータで機械の運転状況を監視されている様子を見せていただいたりしました。



【4年学級通信より一部抜粋】

自分たちが出しているごみがどのように処理されているのか見学を通してしっかり学ぶことができました。資源ごみのプラスチックは、ひとつひとつ人の目で確認をされていて、汚れている等再生できないものは、取り除いておられました。さらに、そのプラごみは、固く固められ、機械が白いビニールで包装していました。燃えるごみは、大きなトラックで運ばれてきて、ごみの水分を同じくらいにするため、大きなクレーンで、かき混ぜてから、焼却していました。「クレーンゲームだ!!!」とあって、みんな夢中になって様子を見ていました。